

令和7年度 第4回大山崎町社会教育委員会議（報告）

- I 日 時 : 令和8年2月17日(火) 午後3時30分～同5時
II 場 所 : 大山崎町役場 3階 中会議室
III 出席者 : 15名
 ○ 出席委員（6名）
 ○ 事務局（9名）
IV 会議名 : 令和7年度第4回大山崎町社会教育委員会議
V 内 容 : 以下のとおり

【要点】

2件の議題（（1）令和7年度生涯学習課関係事業報告について、（2）令和7年度社会教育委員会議関係事業報告について）について、審議のうえ、いずれも承認された。

また、事務局から3件の報告を行った。

なお、傍聴希望者はなかった。

1 開 会 事務局

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

※ 大山崎町社会教育委員会議運営規則による会議成立の宣言（定足数を満たす6名の委員の出席を確認）

4 議題

※ 以降の進行は委員長が担当

(1) 令和7年度生涯学習関係事業報告について 事務局
事務局から令和7年度（11月1日～1月25日）の生涯学習関係事業実績について報告

* 質疑応答

<放課後マイプレイス（落語）について>

委員

レクリエーションで落語を実施されたことがいいなと思いました。子ども達にいろ

いろな新しい体験の機会を与えてもらっていることを嬉しく思います。企画によっては、参加者が少ないこともあろうかと思いますが、どんどんチャレンジしていったほうがいいです。

事務局

ありがとうございます。落語については、子ども達の反応はいまひとつではありましたが、貴重な経験にはなったかなと思っています。引き続き、様々な取り組みにチャレンジしていきたいと思っています。

<図書室について>

委員

近頃、過去の映画作品を視聴しようと思うと、有料の動画配信サービスなどを利用することが主流になってきており、儲からない作品は配信自体がされなくなることもあるようです。書籍も同様に絶版になると読めなくなることもあり、改めて紙媒体としての本を保存することの大切さや図書室の重要性を感じています。今後も頑張って図書室を運営していただきたいと思っています。

事務局

ご意見ありがとうございます。

<イベント情報の周知について>

委員

可能であればお願いしたいことなのですが、以前は子どもが放課後マイプレイスなどのチラシを紙媒体で小学校からもらって帰ってきていました。しかし、今年度の途中から連絡メール（アプリ）による保護者宛の電子データでの配信に変わりました。紙の削減等の観点もあると思いますが、やはり子ども自身の目に入り、参加してみたいなどと思うことが大切じゃないかなと思いますので、何か子ども達にとって良い方法を考えてもらえるとありがたいです。

事務局

委員のおっしゃるとおり令和7年8月から紙の削減及び教職員の負担軽減を目的に、ちらしの紙媒体の配布を廃止し、ミマモルメというアプリによって電子データの配信に方法を変更しました。これは全国的な流れで、一定のご理解いただきたいところではあります。一方で、ご指摘のあった課題については、当方でも認識しているところです。よって周知方法については、教育委員会で現在検討を進めているところです。

委員

ミマモルメのデータ配信は、保護者全員に届くのでしょうか。

事務局

小・中学生の保護者の方に登録してもらうよう学校を通じて周知しており、基本的には登録していただいているかと思いますが、必ずしも全員の方に登録していただい

ているかの確認までは行っていません。

委員

子ども達全員がタブレット端末を持っていると聞いたのですが、こちらに配信をすることは可能でしょうか。

事務局

ご指摘の件については、これまで確認には至っておりません。先程事務局（生涯学習課長）より説明のあったとおり、現在教育委員会で周知方法について検討しているところです。

事務局

事業によっては参加者が減少しているものもあり、周知方法を再検討しています。学校の教職員の過度な負担にならないよう、紙媒体の配布頻度を減らすなどし、子ども達に届く方法の検討を進めていきます。

<天王山について>

委員

天王山は大山崎町にとって貴重な観光資源であり、大切にしていかなければならないと思っておりますが、その大半が私有地であると聞きました。そうなのでしょうか。もし私有地であれば、発掘調査などを行う場合には、所有者の許可が必要になるのでしょうか。

事務局

はい、天王山の多くの部分が私有地であり、調査等を行う場合には、所有者に依頼し、了承を得たうえで、それらの行為を行うこととなります。KDDI株式会社やサントリーホールディングス株式会社と行っている竹林整備や森林整備なども所有者の了承を得て行っています。なお、ハイキング道の整備など一部の場所については、大山崎町の裁量で行える場所もあります。

<下植野のホテル建築について>

委員

宮脇遺跡等試掘調査の話で、下植野に新しくホテルが建設されるという話が出ましたが、具体的な場所等について聞かせてもらえますか。

事務局

場所は、株式会社東亜セイコーの道路を挟んで向かい側です。4階建のビジネスホテルが建設される予定です。

<ふるさとガイドの会発足 30 周年について>

委員

ふるさとガイドの会発足 30 周年おめでとうございます。町の文化・歴史を多くの人に伝えていただいていることに、社会教育委員からも感謝申し上げたいと思います。

<二十歳を祝う会について>

委員

二十歳を祝う会の写真を見ているととても華やかでいいなと思います。一方で、今後ますます華美になると、例えば収入格差などにより、そういったものが用意できず参加を見送る方も出てこないか心配な気持ちもあります。

事務局

ご意見ありがとうございます。なかなか難しい問題ですね。委員のおっしゃることもわかります。5年ほど前に小学校の卒業式でも和装で参加する児童が増えてきたタイミングがあり、服装の規定については教育委員会としてもどのように取り扱うべきか頭を悩ませたことがありました。二十歳を祝う会においても、衣装の費用の捻出が難しく出席をためらう人がいるかもしれない一方で、一生に一度の式典なので自分の好きな衣装で出席したい人もいるかもしれないので、そのバランスについては、なかなか難しいなと思います。

事務局

教育委員の頃から15年ほど成人式（二十歳を祝う会）に参加していますが、ここ近年で急速に華美になったというような印象は受けていません。式典についても、小・中学校の恩師のビデオレターを皆で観賞するなど和やかな雰囲気の中、執り行われています。服装については今後も皆さんの良識に任せ、様子を見守っていきたいと考えています。

◎各委員が承認

(2) 令和7年度社会教育委員会議関係事業について

事務局

事務局から令和7年度（11月1日～1月25日）の社会教育委員会議関係事業の事業実績について報告

<京都府社会教育研究大会について>

委員

残念ながら台風のため中止になった9月の近畿地区社会教育研究大会で発表予定であった京都府の南丹地区社会教育委員連絡協議会の工藤さんが、本研究大会で実践発表をされました。

実践発表の後は神戸学院大学の教授から「人と人とのつながりで災害に強いまちづくり」の講演を聞きました。阪神淡路大震災の死者の83.3%が圧死だったとのことで、「公助を待っては、助からない。自助・共助が大切である。」ということに改めて感じました。また東日本大震災、能登半島地震では災害関連死が多くありました。話をしたり、体を動かしたり、そういったことで防げたかもしれない命があったのだなと思いました。

グループワークでは、大学生も一緒にゲームなども取り入れながら話をしました。私のグループでは、山城地域の方が多く、自治会の加入率の低下など人間関係の希薄さが共通の課題としてありました。

<近畿公民館大会について>

委員

分科会から参加し、奈良県の山添村立東山公民館の発表を聞きました。古い小学校からもらった本を整理し、図書室の利用者数増のための取り組みをしたり、様々なイベントを企画されたりして、公民館活性化の様子を Instagram や Facebook などを用いて情報発信されていました。「難しいことは考えず、おいで。感じたことを話そう。」というコンセプトで取り組んでおられるようです。人数は少なくても、若い人の力で随分村が活気を取り戻していくのだなという印象を受けました。

委員

グループワークで他地域の方と情報交流をしましたが、小学生の数が減ってきていて複式学級（2つ以上の学年で構成される学級）で運営されている小学校が京都府内にもあることを知り、大変驚きました。また田舎に家を持っていながら、もう一つ市街地の便利な場所に住居を持ち、生活の拠点を移されるということもあるようで、こちらも大山崎町とはかなり生活の様式が異なり驚きました。

◎各委員が承認

※ 以降の進行は事務局が担当

5 その他

事務局

事務局から次の3件について報告

- ①町議会定例会（12月）における一般質問・答弁について（生涯学習課関係）
- ②「Weekend Jog in 大山崎」「やますぽのつどい」について
- ③「令和7年度大山崎町社会教育関係団体等交流会」について

6 閉会